

保証書

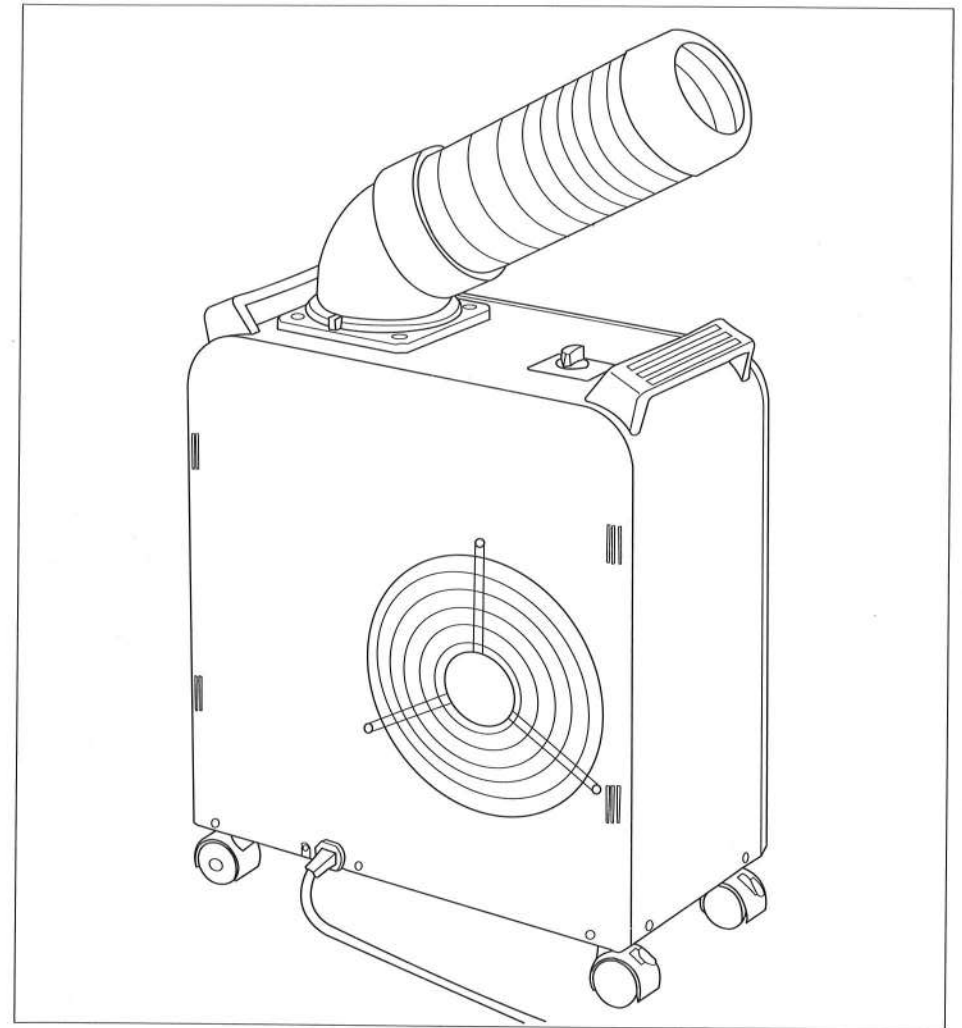
保証期間内に取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼下さい。

形名	スポットエアコン SSA-160		※お買い上げ日	保証期間
			平成 年 月 日	1年
※お客様	ご住所	〒		
	ご芳名			
	電話	()		
※販売店	住所名	〒 ()		

(注)※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
 - 車両、船舶にとう載して使用された場合に生じた故障または損傷。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
- 本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、当社までご相談ください。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。

スポットエアコン SSA-160 取扱説明書



このたびはスポットエアコンをお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用に際しては、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
お読みになった後は、必ず保管してください。

SHINKO 株式会社 新興製作所

〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町11番地 TEL03-3252-8861 FAX03-3254-2600

目次

1.ご使用前に	安全上の注意事項 警告/注意	P1~5
2.仕様明細		P6
3.各部の名称	付属部品名	P7
4.ご使用前の準備	ダクトの接続、設置場所、電源の接続	P8~11
5.使用方法	スイッチの操作、除湿水の排出、保護装置について	P12~14
6.保守・点検	フィルターの掃除、使用後の手入れ、アフターサービス	P15~17

ご注意

①本機は、室内に常設されているエアコンとは異なり、持ち運び可能な簡易型エアコンです。長時間の連続運転には適しておりません。周囲の環境により異なりますが、約6時間を目安としてご使用ください。

②本機の運転開始直後に、騒音や振動が発生することがあります。これは、コンプレッサの初期作動時による騒音や振動で、異常ではありません。そのまま数分間冷風運転を続けると、騒音や振動は減少いたします。

③本機を、食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊な用途での使用は、品質低下などの原因になることがありますので、安全を確認してからご使用ください。

④本機の据え付けや気工事などが必要な場合は、お買い上げの販売店、又は、専門業者にご相談してください。工事に不備がありますと感電や火災の原因になることがあります。

※本機の電圧は、単相・交流100V専用です。表示を超える電圧や直流電源、エンジン発電機では、ご使用できません。

※運転開始約3分間は冷風運転はできません。

安全にご使用いただくために特に注意していただきたいこと

- ご使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読みになって、使用上の注意事項、本機的能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用ください。
- 注意文の〔△警告〕、〔△注意〕の意味について
ここに示した注意事項は、ご使用者や他の方々への危害や損害を未然に防止するためのものです。〔△警告〕と〔△注意〕に区分してお知らせしています。

△ 警告

誤った取扱をしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合のご注意。

△ 注意

誤った取扱をしたときに、使用者が障害を負う可能性が想定される場合のご注意と、物的損害が発生する可能性を想定したご注意。

ただし、〔△注意〕に記載した内容でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全にご使用いただくために、重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告・注意文のマークの例

△(三角)マークは、警告・注意を促す内容があることを告げる物です。マークの中に具体的な警告内容を示しています。
下のマークは「感電注意」を意味しています。



○(丸)マークは、禁止の行為であることを告げる物です。マークの中に具体的な禁止内容を示しています。
下のマークは「分解禁止」を意味しています。



●(黒丸)マークは、行為を強制したり指示することを告げる物です。マークの中に具体的な禁止内容を示しています。
下のマーク左は「差込みプラグを抜く」右は、「強制」を意味しています。



製品の搬入・移動の注意

⚠ 注意

- 本機の搬入・移動では、重心・重量のバランスを考慮して作業をしてください。
 - 落下・破損などにより、思わぬケガの原因になります。
-
- 搬入・移動でやむをえず本機を持ち上げるときは、腰だけがかがめず、膝も曲げて持ち上げてください。
 - 腰を痛める原因になります。
-
- 搬入・移動では、必ずドレンタンクを空にしてください。
 - ドレン水がこぼれると、本体内部に浸水して感電・漏電の恐れがあります。
-
- 本機を横倒しにした状態での移動や、運搬をしないでください。
 - 本機の破損・故障の原因になり、感電や発火の恐れがあります。
-
- 本機の移動では、必ずハンドルを持って移動してください。
 - 電源コードを引っ張っての移動は絶対にしないでください。
 - コードの切断やショートの原因になります。



感電注意



水抜き



感電注意



製品の使用上の警告、注意

⚠ 警告

- 使用電源は、銘板に表示してあるAC100Vの電圧でご使用ください。
 - 表示を超える電源に接続しますと、モーターの回転が異常に速くなり、本機が破損する恐れがあり危険です。
-
- 使用前に電源コード、差し込みプラグを点検してください。
 - 電源コード、差し込みプラグを傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいまま使用しますと、火傷、感電、火災の恐れがあり危険です。



100V以外



感電注意



感電注意



⚠ 警告

- 可燃性の液体やガスのある所では絶対に使用しないで下さい。
 - 可燃物の近くで使用しますと、引火、爆発の危険があります。
- 例：ガソリン・灯油・シンナー・ベンジン
塗料・その他引火・爆発の危険があるもの。
アルミニウム・マグネシウム・チタン・亜鉛
化学物質などの爆発性粉じん・ガス・蒸気などの近くでは使用しない。



禁止



- 感電事故防止のため、必ずアースを取り付け、漏電ブレーカー（市販品）を使用してください。
- 故障や漏電のときに、感電する恐れがあります。

- アース棒やアース板を地中に埋め込み、アース線を接続する電気工事は、電気工事士の資格が必要です。最寄りの電気工事店にご相談ください。

アース線に接続

アース用電線

アース棒

約1m

アース線に接続

アース用電線

アース棒

約1m

アース線に接続

アース用電線

アース棒

約1m

アース線に接続

アース用電線

アース棒

約1m

アース線に接続

アース用電線

アース棒

約1m

アース線に接続

アース用電線

アース棒

約1m

アース線に接続

アース用電線

アース棒

約1m

アース線に接続

アース用電線

アース棒

約1m

アース線に接続

アース用電線

アース棒

約1m

アース線に接続

アース用電線

アース棒

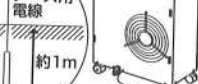
約1m

アース線に接続

アース用電線

アース棒

約1m



⚠ 注意

●取扱説明書に記載した製品仕様以外では、使用しないでください。

●漏電・感電・火災・水漏れなどの原因になります。



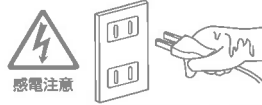
●車両・船舶に搭載しての空調用としては、使用しないでください。

●漏電・感電の原因になります。



●濡れた手で、差込みプラグやスイッチなどの電気配線部には触れないように注意してください。

●感電の恐れがあります。



●冷風を、長時間体に直接当てないように注意してください。

●集中して冷風を直接体に当てると健康を害する恐れがあります。



●本機は、20℃、60%～40℃、60%の運転可能条件の雰囲気内でご使用ください。

●感電・火災・故障などの原因になります。



●本機の起動、停止の操作は必ずスイッチで行ってください。

●差込みプラグの抜き差しによる操作をしますと、感電や火災の原因になります。



●カーボン・鉄・鋳物・アルミなどの粉じんが発生する場所では使用しないでください。

●感電やショートにより発火の原因になります。



●スポットエアコンは、振動がなく、傾斜のない平坦な場所で安定した状態で使用してください。

●転倒によるケガや、水漏れによる感電事故の原因になります。



●台に乗せたり、机の上などに置いて不安定な状態で使用してください。

●本機の転倒、落下などによりケガの原因になります。



●本機を、火気の近くでは使用しないでください。

●本体の熱変形でショートによる発火の原因になります。



●本機に、物を載せたり、乗ったりしないでください。

●落下物や転倒などによりケガの原因になります。



⚠ 注意

●本機の上面に、水の入った容器などを載せないでください。

●水がこぼれたり、漏れたりしますと本体内部に浸入し、漏電・感電事故の原因になります。



●本機の据え置き時は、底面に取付けられているキャスター(車輪)のストッパーを確実に固定側にしてください。

●運転時や不意な移動により、思わぬケガの原因になります。



●本機を雨中に放置や、水のかかるところで使用しないでください。

●絶縁劣化による感電・漏電・火災などの事故や故障の原因になります。



●空気中の浮遊粉じんの多い場所での使用では、必ず定期的に内部の掃除をしてください。

●感電やショートによる発火の原因になります。



●排気口の中に指や手を入れないでください。

●思わぬケガの原因になります。



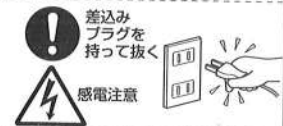
●フィルターは、必ず取り付けてご使用ください。

●フィルターを外したままでは、熱交換機が露出しケガの原因になります。



●差込みプラグを抜くときは、電源コードを持って引っ張らず、必ず差込みプラグを持って引き抜いてください。

●コードの切断や感電・ショートして発火の原因になります。



●使用時以外は、差込みプラグを電源コンセントから必ず抜いてください。

●絶縁劣化による感電・漏電・火災やケガ・やけどなどの原因になります。



●使用中、本機の異常に気づいたときは直ちにスイッチを切り、プラグを電源から抜いてお買い上げの販売店、または弊社にご連絡ください。(または修理に出してください。)

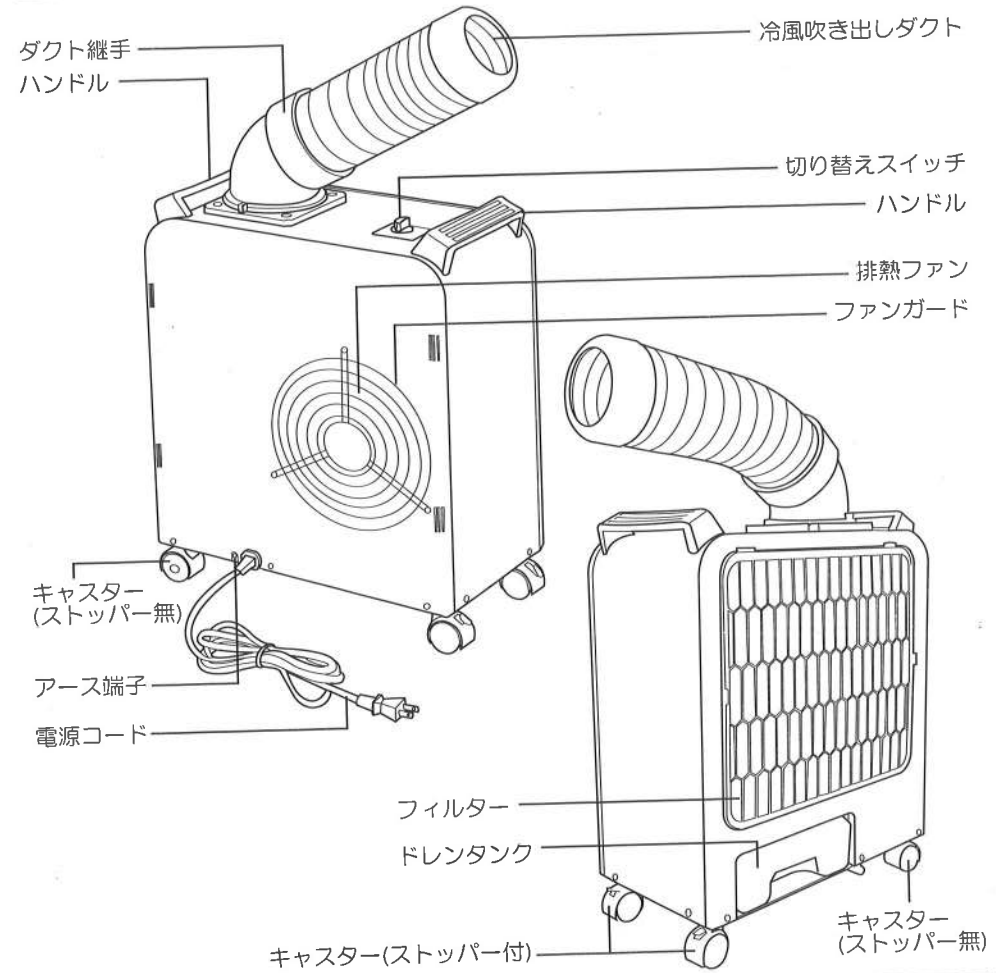
●感電・漏電・ショートなどにより火災の恐れがあります。

仕様明細

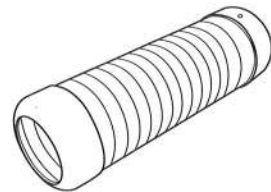


型	式	SSA-160		
電	圧	AC100V		
周	波	数	50/60Hz	
運	転	電	流	6.8/7.2A
始	動	電	流	25.1/23.3A
消	費	電	力	620/710W
冷	房	機	能	1.4/1.6KW
圧	縮	機	出力	0.47KW
送風機	冷風側	風量	4/4m/min	
		出力	30W	
	排熱側	風量	5/7m/min	
		出力	10W	
力	率	91/99%		
冷媒・冷媒封入量	HCFC-22, 310g			
電源コード	約2.1m			
機体寸法(ダクトは含まず)	460(長さ)×285(幅)×580(高さ)			
質	量	約21.6kg		

※ 冷房能力・消費電力・運転電流は周囲温度35℃、相対湿度60%で運転した時の値です。
 ※本機は改良のため予告なしに仕様を変更することがあります。

各部の名称



付属部品名

冷風吹き出しダクト	ダクト継手	ドレンタンク
		
		容量約2.8L

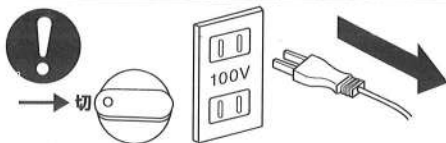
ご使用前の準備

⚠ 警告

- 本機を安全にご使用いただくために、先に1ページ「安全にご使用いただくために特に注意していただきたいこと」を、必ずお読みになって正しく安全にご使用ください。

⚠ 注意

- ご使用前の準備では、必ずスイッチが切れていることを確認してください。
又、差込みプラグを電源から抜いて行ってください。



■冷風ダクトの接続方法

●ダクト継手の接続

- ①本体上部の、冷風吹き出し口凹部4カ所(広い×2狭い×2)にダクト継手の凸部(4カ所)を合わせて差し込んでください。(図1参照)
- ②ダクト継手つまみ部下のL形凸部(2カ所)を、冷風吹き出し口の幅の広い凹部(2カ所)に合わせてください。
- ③ダクト継手の両側のつまみ部を持ち、固定矢印側に回してください。(図2参照)
- ④冷風吹き出し口凹部と、ダクト継手凸部の噛み合わせはきつくしてあります。

カチット音がして止まった所が固定箇所です。

- ⑤ダクト継手を引っ張って、外れないかを確認してください。

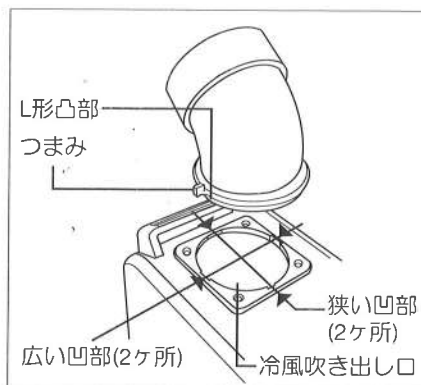


図1

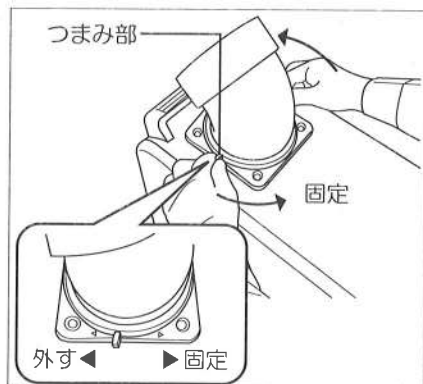


図2

●冷風吹き出しダクトの接続

- ①冷風吹き出しダクトを、両手で引き延ばしてください。
- ②冷風吹き出しダクト突起部(2カ所)を、ダクト継手凹部(2カ所)に合わせて差込みます。(図3参照)
- ③右回し(時計回り)で止まる所まで回してください。

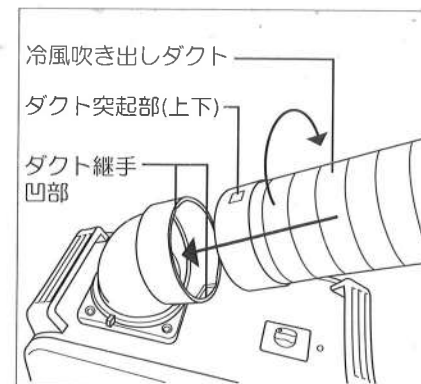


図3

■冷風ダクトの取外し方法

- ①冷風吹き出しダクトを左に回し、止まった所で引き抜いて外します。
- ②ダクト継手のつまみ部両側を持ち、外すの矢印側に回してダクト継手を外してください。

■冷風吹き出しダクトの風向調節

- 冷風吹き出しダクトは、フレキシブルタイプです。可動範囲内の上下位置と、ダクト継手を回転させることで風向を調節することができます。

- ①水平にダクト継手を回転させ、風向を360度で任意の位置に合わせます。(図4参照)
- ②必ず、ダクト継手を冷風吹き出し口に固定してから回転させてください。
- ③ダクト継手を手で押さえ、冷風吹き出しダクトを静かに可動範囲内で任意の上下位置に合わせます。(図5参照)
- ④無理な折り曲げをしないでください。吹き出しダクト・ダクト継手の破損の原因になります。
- ⑤冷風吹き出しダクトの中に物を落としたり、棒などを差し込んだりしないでください。破損・故障の原因になります。

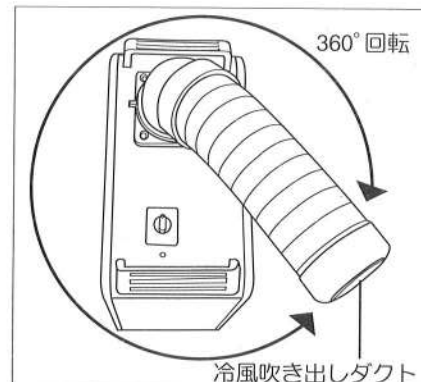


図4

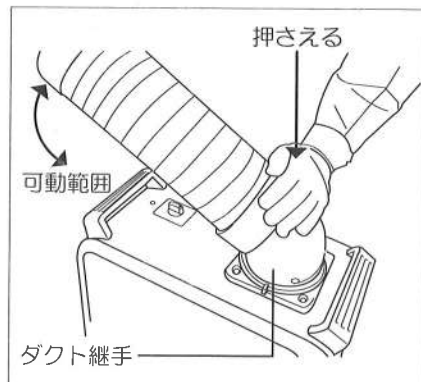


図5

■本機の設置場所について

警告

- 酸性またはアルカリ性など、一般の雰囲気と異なる場所に設置しないでください。
熱交換器などが腐食する原因になります。
- 排気口の中に物を入れたり、棒を差し込んだりしないでください。ファンの破損や内部の部品を傷めたり、故障の原因になります。
- 排気口・フィルター口を塞がないでください。
運転を妨げるだけでなく、故障の原因になります。



- 排気口・フィルター口付近に障害物のない場所に設置してください。(図6参照)

※ 設置場所と障害物までの距離

フィルター側	30cm以上離す
排気口側	50cm以上離す

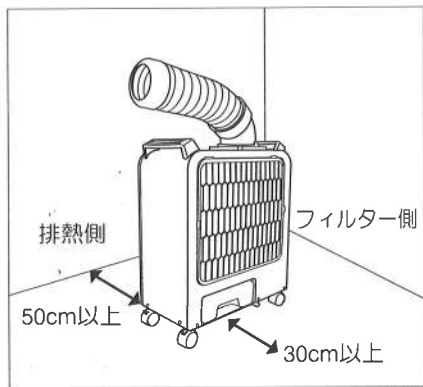


図6

図どちらか片一方の障害物までの距離を表しています。狭い空間の中でのご使用は、故障の原因になりますので、反対側には十分な距離を作ってください。

■電源について

警告

- 使用電源は、銘板に表示してあるAC100Vの電圧でご使用ください。
- 表示を超える電源に接続しますと、モーターの回転が異常に速くなり、本機が破損する恐れがあり危険です。



- 電源は、専用電源からつないでください。
- 電源コード及び延長コードは、必ず指定の長さ・公称断面積のコードをご使用してください。

■アース端子について

警告

- 感電事故防止のため、必ずアースを取り付け、漏電ブレーカー(市販品)を使用してください。
- 故障や漏電のときに、感電する恐れがあります。



- 電源コード横にある、アース端子にアース用電線(市販品)で接続してください。(図7参照)
- 注 アース線は、太さ2.0mm²以上の線をご使用ください。

- アース棒やアース板を地中に埋め込み、アース線を接続する電気工事は、電気工事士の資格が必要です。最寄りの電気工事店にご相談ください。

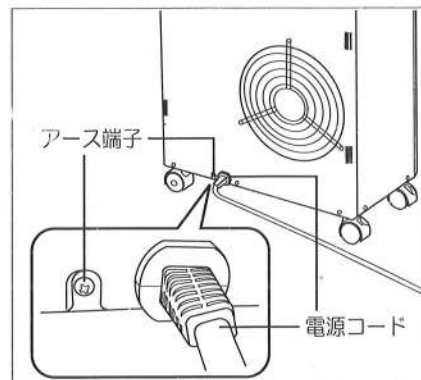


図7

注漏電ブレーカーは、15 A、30mA、0.1sec以下の物を使用してください。

■延長コードについて

- 電源が離れていて延長コードが必要なときは、最高の能率でご使用いただくために、十分な太さのコードを、できるだけ短くご使用ください。
- コードの太さ(導体公称断面積)と最大長さの関係(ご参考)

コードの太さ(導体公称断面積)	延長コードの長さ
2.0 mm ²	15 m
3.5 mm ²	25 m

注ドラム式の延長コードをご使用の場合は、使用中の発熱などによる電圧降下を防止するため、コードはすべて引き出してご使用ください。

ご使用方法

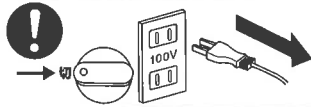
⚠ 警告

- 本機を安全にご使用いただくために、先に1ページ「安全にご使用いただくために特に注意していただきたいこと」を、必ずお読みになって正しく安全にご使用ください。

■スイッチの操作について

⚠ 注意

- 差し込みプラグを電源に差しこむ前に、スイッチが切れていることを確認してください。又、使用後はスイッチが切れていることを確認し、プラグを電源から抜いてください。



- 本体上面にある切り替えスイッチを操作します。左「切る」から右に「強」・「弱」で切り替えます。(図8参照)
- 一度運転を停止しましたら、次に冷風運転を開始するまでは4分以上間を置いてから、スイッチを入れてください。
- ☑冷風運転停止後約3分間は、コンプレッサ保護のため、冷風運転はできません。

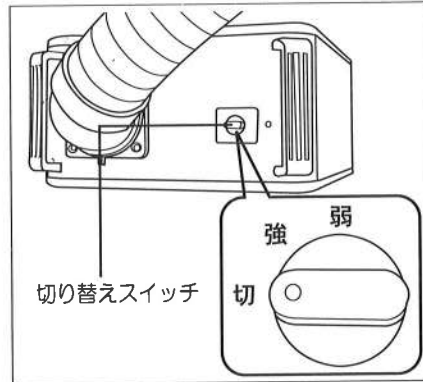


図8

■風向の調節

⚠ 注意

- 冷風を、長時間体に直接当てないように注意してください。
- 集中して冷風を直接体に当てると健康を害する恐れがあります。



- 冷風吹き出しダクトの位置を調節して任意の位置でご使用ください。(P9冷風吹き出しダクトの風向調節の項参照)

■除湿水の排出について

⚠ 警告

- 搬入・移動では、必ずドレンタンクを空にしてください。
- 除湿水がこぼれると、本体内部に浸水して感電・漏電の恐れがあります。
- ドレンタンクに溜まった水は、早めに捨ててください。
- 溢れ出た水で、周囲を汚す元になります。



●ドレンタンク(付属品)のご使用

- ①本機下部のドレンタンク受けに、付属品のドレンタンクを差し込んであります。(図9参照)
- ☑ドレンタンクが確実に奥まで差し込まれていることを確認してください。又、ときどきタンクの差し込み位置を確認してください。
- ②本機のタンク容量は、約2.8 Lです。急激に除湿水が溢れ出ないように、タンク側面の上部に丸穴があいています。除湿水が流れ出る前にタンクを引き出し、溜まった水は早めに捨ててください。

(水量は、タンクを目視で確認してください。)

- ☑除湿水排出口とタンクの排水受け口に、ずれが生じると除湿水で周囲を汚す元になります。(図10参照)
- ☑除湿水量は、外気温や湿度、熱交換器の汚れなどで大きな差があります。とくに梅雨時期など湿度の高い時期は、除湿水量が増えますので早めに捨ててください。
- ☑本機より排出された除湿水を、飲料などに使用しないでください。
- ☑本機は、熱交換器上部の蒸発側で除湿した水を一部、下部凝縮側で蒸発させています。

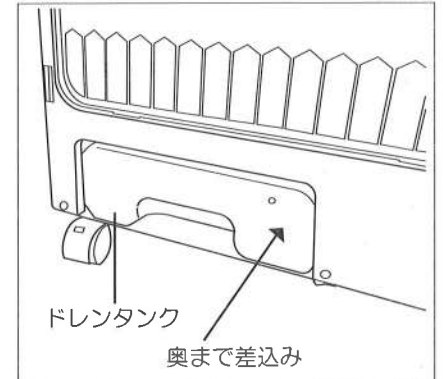


図9

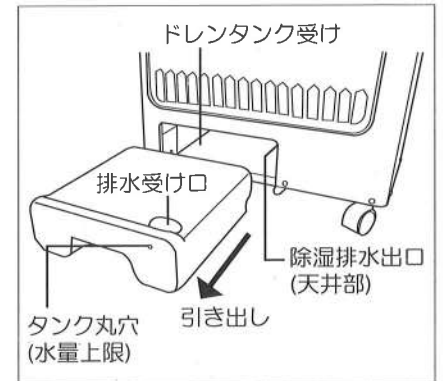


図10

●ホース(市販品)のご使用

- ①ドレンタンクを取り出してください。
 - ②本機下部のドレンタンク受け口付近で、右側上部に除湿水排出口があります。内径16mmのホース(市販品)を差し込み、ホースバンドで確実に固定してください。(図11参照)
 - ③接続したホースの片方の端を、排水溝などに差し入れて直接排水してください。
- ☞排水ホースを折り曲げないように注意してください。除湿水の排出を妨げます。
- ☞定期的に除湿水排出口の点検をしてください。粉じんやゴミなどの多い場所で使用しますと、除湿水排出口に粉じんなどが溜まり、本体底部に除湿水が漏れることがあります。

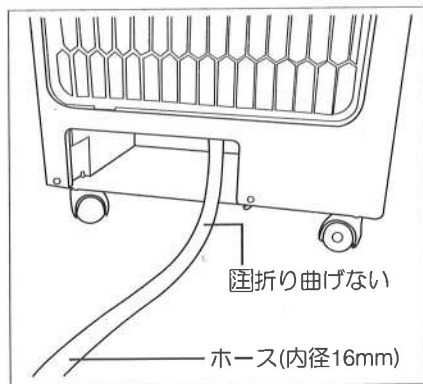


図11

■保護装置について

●凍結防止用サーモ

※低温時の熱交換機凍結防止のため、コンプレッサの作動を停止し、送風運転に切り替わります。霜取りが終わりましたら、自動で冷風運転に戻ります。

●3分間保護装置

※コンプレッサ保護のため、冷風運転停止3分以内は、スイッチを入れても送風のみ運転になります。3分以上の間を置いてから、スイッチの操作をしてください。

●コンプレッサ用オーバーロードリレー

※電圧の低下などによる過電流や、モーターが異常加熱したときに自動的に電源が切れ、モーターが止まる安全装置です。

☞オーバーロードリレーは自動復帰型です。頻繁にオーバーロードリレーが作動して運転が停止する時は、本機の使用を中止し、原因を取り除いてください。故障の原因になります。

保守・点検について

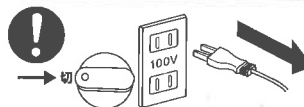
⚠ 警告

- 本機を安全にご使用いただくために、先に1ページ「安全にご使用いただくために特に注意していただきたいこと」を、必ずお読みになって正しく安全に保守・点検を行ってください。

■フィルターのお手入れ

⚠ 注意

- フィルターの掃除では、必ずスイッチが切れていることを確認してください。又、差し込みプラグを電源から抜いて行ってください。



●フィルターの取外し(図12参照)

- フィルター両側のつまみ部を持ち、手前側に引っ張って外してください。

●フィルターの取付け(図13参照)

- ①フィルターの凸部下側2カ所(間隔が狭い)を、先に本体の取付け穴下側に差込みます。
 - ②フィルターを少し曲げながら上側の凸部2カ所(間隔が広い)を、本体の取付け穴上側に差込みます。
- ☞フィルターに付いているほこりを、電気掃除機などで吸い取ってください。汚れがひどいときは水洗いをし、完全に乾かしてから取付けてください。

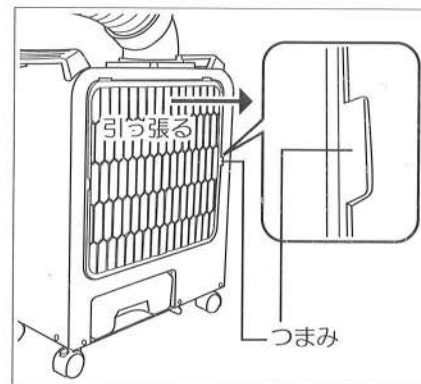


図12

- ☞フィルターが目詰まりしたままご使用になりますと、モーター故障の原因になります。定期的にフィルターの清掃をしてください。

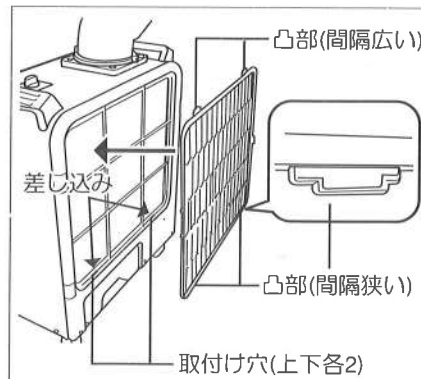
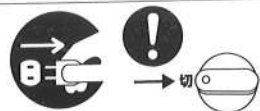


図13

■使用後のお手入れ

⚠ 警告

- 使用後のお手入れでは、必ずスイッチが切れていることを確認してください。
- 又、差込みプラグを電源から抜いて行ってください。



- ドレンタンク内の除湿水を捨てて、中を乾燥させてください。
- フィルターの掃除をしてください。(P15フィルターのお手入れ参照)
- 本体やダクトは、乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい時は、石けん水(中性洗剤)を付けた布で拭きとり、汚れを落とした後に再度乾いた柔らかい布で拭いてください。
- ガソリン、シンナー、石油類での清掃は、商品をいためますのでさけてください。又、水洗いは絶対にしないでください。
- 本機を横倒しにしての保管をしないでください。故障の原因になります。
- お子様の手のとどく範囲や落下の恐れ、不安定なところはさけてください。

アフターサービスについて

- 本製品に異常が生じた時は、次の点をお調べになって、それでも不具合な場合は、お買い上げの販売店、又は、弊社にご連絡ください。

こんなときは	調べるところ	直しかた
モーターが回転しない	差込みプラグ	●コンセントにしっかり差込まれていますか。差込み直してください。
	電源コードの確認	●電源コードが断線していませんか。断線箇所の修復。
	保護装置の作動	●ヒューズの切れ。ヒューズの交換。 ●ブレーカーの切れ。ブレーカーの復帰。 ●オーバーロードリレーの作動。スイッチを切り、時間をおいてから運転を再開。
ヒューズやブレーカーの切れ	ブレーカーの容量	●ブレーカーの容量は適正ですか。本機専用のブレーカーを設置し、分岐回路も本機専用にしてください。
	電源電圧の低下	●電源コンセント口に100Vの電圧がありますか。電力会社にご相談してください。

こんなときは	調べるところ	直しかた
送風・冷風運転の繰り返し	凍結防止サーモの作動	●周囲の環境が本機の運転可能条件より低くなっていませんか。スイッチを切り周囲の環境が運転可能条件になるまで待ってください。
冷えない	冷風吹き出し口	●冷風吹き出し口が詰まっていませんか。ゴミなど障害物を取り除いてください。
	フィルター	●フィルターが目づまりしていませんか。フィルターを清掃してください。
冷えが弱い	運転環境温度	●運転環境温度が40度を越えていませんか。風通しを良くして、連続運転可能範囲以内(20℃~40℃)でご使用ください。
水漏れ	除湿水排水口	●除湿水排水口が詰まっていませんか。排水口を掃除して、排水の通しを良くしてください。
	ドレンタンクの差込み位置	●ドレンタンクが奥まで差し込まれていませんか。除湿水排水口と、排水受け口にづれがあるとタンクに水を溜められません。
	ドレンタンクの水量と破損	●ドレンタンクが満水になっていませんか。水を捨ててください。破損がありましたら修理、又は破損のない物に交換してください。

■修理について

- 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音が生じたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、又は、弊社にお問い合わせください。
- 本機を廃棄するときは、分解し、分別処理して廃棄物処理場に出してください。